

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	長野県立大学
設置者名	公立大学法人長野県立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
グローバルマネ ジメント学部	グローバルマネ ジメント学科	夜・通信	12	8	66	86	13	
健康発達学部	食健康学科	夜・通信		2	42	56	13	
	こども学科	夜・通信			58	72	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.u-nagano.ac.jp/about/kohyo/disclosure/>

学校教育法施行規則第172条の2関係欄「5. 授業科目，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること」に掲載

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野県立大学
設置者名	公立大学法人長野県立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ：<https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/directors/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
理事長（常勤）	株式会社役員	R8.4.1～ R12.3.31	法人を代表し、法人 業務の総理
副理事長（常勤）	国立大学教授	R8.4.1～ R14.3.31	教学代表
専務理事（常勤）	県職員	R8.4.1～ R10.3.31	経営
理事（非常勤）	私立大学教授	R8.4.1～ R10.3.31	経営
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野県立大学
設置者名	公立大学法人長野県立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)の内容 《授業の概要》 《到達目標》 《キーワード》 《履修要件》 《教授方法》 《授業の形態(対面/オンライン(同時双方向)/オンデマンド/対面とオンライン・オンデマンドの併用)》 《授業で使用するICTツール(Melly, Glexa, Teams, Zoom ほか)》 《アクティブ・ラーニング要素の有無》 《授業計画》 《教科書・テキスト》 《参考書・参考資料等》 《授業外における学習》 《成績評価》 《質問や相談への対応》 《受講生に望むこと》 《その他・特記事項》 《(実務経験のある教員が授業を担当する場合のみ)実務経験及びその内容》 授業計画(シラバス)の作成過程 1. 学務課から全教員にシラバス作成を依頼 2. 全教員が学務課にシラバスを提出 3. 科目担当教員以外の教員により記載内容の相互チェック 4. シラバス完成 授業計画の作成・公表時期 作成時期：1月～3月 公表時期：3月末	
授業計画書の公表方法	https://asm-ediea.com/u-nagano/open/ja/syllabuses
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学生便覧に、成績評価の基準について示し、履修登録を行った全ての授業について、一定の基準により成績を評価します。

評語	略記号	評点	GP
秀	S	90～100	4
優	A	80～89	3
良	B	70～79	2
可	C	60～69	1
不可	F	0～59	0
認定 (GPAの対象としない)	N	なし	なし

(また、卒業要件単位及び進級要件も示し、厳格かつ適正に履修認定し単位授与しています。)

CAP制(履修科目の登録の上限)について、単位の過剰登録を防ぐため、1年間に履修登録できる単位の上限を設けています。各学部・学科の上限は、それぞれ以下のとおりです。

	1年間に履修登録できる単位の上限
グローバルマネジメント学部	45単位
グローバルマネジメント学科	
健康発達学部食健康学科	48単位
健康発達学部こども学科	45単位

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学生便覧に示し、GPA制度について、本学では、GPA(Grade Point Average)制度を導入し、成績評価を明確にしています。GPAの算出は、以下の算式のとおりです。

$$GPA = \frac{(\text{履修した科目の単位数} \times \text{その科目のGP}) \text{の合計}}{\text{履修登録単位数の合計}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.u-nagano.ac.jp/media/seisekihyouka2022.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

グローバルマネジメント学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

【共通】

- ・グローバルな英知、多様な価値観や異文化を理解し、交流するための教養と発信する能力
- ・豊かな人間性と高い倫理観を持ち、自律的に目標を掲げ、協働して実現するためのリーダーシップと実現の道筋を論理的に見極める能力
- ・未来を切り拓き、グローバルにチャレンジできるための専門的知識とたくましく生きる能力
- ・グローバルな視点から、現代社会の多様な課題に対して論理的に思考する能力

【グローバル・ビジネスコース】

- ・企業経営の諸課題を的確に把握する専門知識を持ち、その課題解決のためにマネジメントする能力

【企（起）業家コース】

- ・社会や地域について問題意識を持ち、新たな事業機会を発見し、事業創造を企画する能力

【公共経営コース】

- ・地域社会の諸課題を的確に把握するための公共経営に関する専門的知識を持ち、その課題解決のため企画立案する能力

○健康発達学部食健康学科

食健康学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、大学の「基盤学士力」に加えて、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・高いコミュニケーション能力とリーダーの資質をもち、栄養・食を通して人々の健康を支えることができる力
- ・地域社会に貢献するとともに、グローバルに発信し、展開することができる力
- ・持続可能な社会を担う一員としての自覚をもち、生涯にわたり学び続けることができる力
- ・専門的知識と技術を身につけ、論理的・科学的に思考し、実践することができる力

○健康発達学部こども学科

こども学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、大学の「基盤学士力」に加えて、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・保育や子育てを支える専門的知識や論理を理解し、社会に還元できる力
- ・地域や社会の特性をふまえ、よりよい保育・子育て環境を計画し、実践できる力
- ・豊かな表現力や感受性を備え、主体的に課題解決や新たな価値を創造できる力
- ・保育者として学び続け、他者との協働によって課題を解決するための課題発見、情報収集、分析思考力、発信力、コミュニケーション力などの汎用的能力

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/diploma/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	長野県立大学
設置者名	公立大学法人長野県立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/
財産目録	該当なし
事業報告書	https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/
監事による監査報告(書)	https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		
中長期計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.u-nagano.ac.jp/about/kohyo/evaluation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	グローバルマネジメント学部・健康発達学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.u-nagano.ac.jp/about/kohyo/disclosure/ 「学校教育法施行規則第 172 条の 2 関係」における「1.大学の教育研究上の目的に関すること」）	
(概要)	
○長野県立大学の理念	長野県立大学は、長野県の知の礎となり、未来を切り拓くリーダーを輩出し、世界の持続的発展を可能にする研究成果を発信することで、人類のより良い未来を創造し、発展させる大学をめざします。
○長野県立大学の使命	自ら考え、自ら学び、主体的に行動し、成長する機会を世界に求め、世界中のイノベーターと出会い、グローバルな視野で未来を切り拓き、地域を創生できるリーダーを育てます。
1. リーダー輩出	幅広い豊かな教養教育、実践重視の高度な専門教育、寮生活や海外研修などによる全人教育によって、新たな時代を担う様々な資質や能力を備えたリーダーを輩出します。
2. 地域イノベーション	長野県の豊かな自然や長い歴史・伝統を理解し、大切にすることを通して、県の産業・文化・生活を活性化する「知の拠点」となり、地域に開かれた大学、地域とともに歩む大学をめざします。
3. グローバル発信	健全な批判精神をもち、先進的な研究はもとより、長野県の産業や文化を基盤とした学際的な研究を推進して、新たな知を創出し、その成果を地域に還元するとともに、長野から世界に向けて発信します。
○学部等ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	
・グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科	グローバルな視野と果敢なリーダーシップを持ち、企（起）業家精神（新しい事業の創造意欲に燃え、リスクに果敢に挑む姿勢）によって、将来、地域の資源・人材・組織を生かして事業創造に挑戦するビジネス・リーダー、社会や地域の課題解決に挑戦してその解決のための事業創造をする企（起）業家、公共サービスを立案・実行する地域社会のリーダーとなる人材を育成することを目的とする。
・健康発達学部食健康学科	食を通じた健康に関する幅広い知見と、栄養学を中心とした食物（調理を含む。）や人の体に関する専門的知識・技術を併せ持ち、それらを総合的に理解して、倫理観やグローバルな視野も身に付けて他者と豊かなコミュニケーションを構築し、人々の健康やQOL（生活の質）の向上に寄与する食を通じた健康のプロフェッショナルとなる人材を育成することを目的とする。
・健康発達学部こども学科	こどもがより良く育つための環境や教育についての広い識見を有し、グローバルな視野を持ちながら、地域の環境を生かした保育を創造するとともに、関係者と協働しつつ、保育や子育てをめぐる課題解決を図ることができる実践力と専門

性を持ち、将来の保育・幼児教育のリーダーとなる人材を育成することを目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針

(公表方法：<https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/diploma/>)

(概要)

ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)

○グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

グローバルマネジメント学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

【共通】

- ・グローバルな英知、多様な価値観や異文化を理解し、交流するための教養と発信する能力
- ・豊かな人間性と高い倫理観を持ち、自律的に目標を掲げ、協働して実現するためのリーダーシップと実現の道筋を論理的に見極める能力
- ・未来を切り拓き、グローバルにチャレンジできるための専門的知識とたくましく生きる能力
- ・グローバルな視点から、現代社会の多様な課題に対して論理的に思考する能力

【グローバル・ビジネスコース】

- ・企業経営の諸課題を的確に把握する専門知識を持ち、その課題解決のためにマネジメントする能力

【企（起）業家コース】

- ・社会や地域について問題意識を持ち、新たな事業機会を発見し、事業創造を企画する能力

【公共経営コース】

- ・地域社会の諸課題を的確に把握するための公共経営に関する専門的知識を持ち、その課題解決のため企画立案する能力

○健康発達学部食健康学科

食健康学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、大学の「基盤学士力」に加えて、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・高いコミュニケーション能力とリーダーの資質をもち、栄養・食を通して人々の健康を支えることができる力
- ・地域社会に貢献するとともに、グローバルに発信し、展開することができる力
- ・持続可能な社会を担う一員としての自覚をもち、生涯にわたり学び続けることができる力
- ・専門的知識と技術を身につけ、論理的・科学的に思考し、実践することができる力

○健康発達学部こども学科

こども学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、大学の「基盤学士力」に加えて、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・保育や子育てを支える専門的知識や論理を理解し、社会に還元できる力
- ・地域や社会の特性をふまえ、よりよい保育・子育て環境を計画し、実践できる力
- ・豊かな表現力や感受性を備え、主体的に課題解決や新たな価値を創造できる力
- ・保育者として学び続け、他者との協働によって課題を解決するための課題発見、情報収集、分析思考力、発信力、コミュニケーション力などの汎用的能力

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/curriculum/>)

(概要)

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

○グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

グローバルマネジメント学科は、教育目標を実現するための同学科のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけることができるよう、総合教育科目において、「読む・聞く・書く・話す」の4技能を体系的に身につける英語集中プログラムと幅広い教養を身につける科目によるカリキュラムを編成するとともに、専門教育科目において、専門教育の導入科目として位置付ける科目を必修科目として配置し、また、海外実地研修を配置した「学部共通専門基盤科目」、各コースにおける基盤となる科目を配置した「コース専門基盤科目」、専門的知識の幅を広げる科目を配置した「展開科目」によるカリキュラムを編成します。

なお、専門教育科目においては、同学科のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力について、次の4つのカテゴリーを設定し、それぞれの力を体系的に学修するためのカリキュラム編成とします。

■カテゴリー① 人間性・社会人基礎力

多様な価値観と異文化への理解／交流するための知識と表現する力（発信力）／豊かな人間性と高い倫理観／自律性／協働する協調性／論理的な思考力／数学的な思考力

■カテゴリー② 事業経営力

リーダーシップ／現代社会の課題を発見する力／企業経営の諸問題を把握する力

■カテゴリー③ 事業創造力

実現のための道筋を見極める能力／ビジネスするための知識と行動力／事業創造の知識と企画提案力

■カテゴリー④ 公共経営力

地域社会の問題認識力／政策立案するための知識と企画力／地域社会のリーダーとしての行動力

○健康発達学部食健康学科

食健康学科は、教育目標を実現するための同学科のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけることができるよう、次の特徴を有するカリキュラムを編成します。

- ・多様な講義・実験・実習等を活用して、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどを通じて、コミュニケーション能力、さらにはリーダーシップを涵養する。
- ・地域社会の構造を理解したうえで、健康・栄養・食に関する課題解決につながる教育を行う。
- ・国際的視野を身につけ、主体的な行動力を育成する。
- ・日進月歩の健康・栄養・食分野において、新しい知識や技術の習得を通して、学び続けることの重要性を理解できる教育を行う。
- ・専門教育科目において、栄養士免許、管理栄養士の国家試験受験資格のほか、栄養

教諭一種免許状が取得できるよう系統的・段階的に配置して基礎と実践の関係性を重視する教育を行う。 ・専門教育科目で学んだ知識と技術をもとに、基礎と実践を結びつけ、論理的・科学的に発展させるための教育を行う。 ○健康発達学部こども学科 こども学科は、教育目標を実現するための同学科のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけることができるよう、次の特徴を有するカリキュラムを編成します。 ・専門性の基礎となる知識や技能を獲得する科目を必修とし、学修によって身につけたものを社会に還元するための幼稚園教諭免許状や保育士資格が取得できる養成プログラム。 ・こども、子育ての状況や課題について広く学ぶと共に、保育・幼児教育の基盤となる自然や文化、地域的な特徴などの環境について理解し、海外プログラム等の異文化体験を含み、そこに成り立つ保育や教育のあり方を学ぶ科目。 ・こどもの主体性や表現力を育成する保育者としての基礎力を培うための体験的な表現科目、及び今日的な課題の実践的理解と課題解決力を醸成する演習・実習科目の充実。 ・学生自身の主体的な問題意識に応じ、柔軟かつ多様な思考力、創造力、実践力を育むための選択的履修を重視したカリキュラムと双方向による少人数ゼミの充実。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/admission/)
(概要) アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針) ○グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科 グローバルマネジメント学科の教育目標に共鳴し、挑戦する強い意欲を持って学ぼうとする、次のような資質・能力を備えた者を求めています。 ・経営学に関する確かな専門的知識を身につけて、将来、ビジネス・リーダーとしての活躍、社会や地域の課題解決のための事業創造、課題解決のために活動するリーダーとなることを志す者 ・英語集中プログラムと海外プログラムを通して、「読む・聞く・書く・話す」の4技能を体系的・実践的に身につけ、グローバル社会で活躍したい者 ・寮生活を通して、豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、協働して目標を達成することを志す者 ○健康発達学部食健康学科 食健康学科では、管理栄養士の資格取得をめざした教育を行います。その教育目標に共鳴し、挑戦する強い意欲を持って学ぼうとする、次のような資質・能力を備えた者を求めています。 ・寮生活を通して、豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、協働して目標を達成することを志す者 ・管理栄養士としての専門性を活かして、健康長寿の発展に貢献したい者 ・英語集中プログラムと海外プログラムを通して、「読む・聞く・書く・話す」の4技能を体系的・実践的に身につけ、グローバル社会で活躍したい者 ・社会生活や日常生活の中から、健康・栄養・食に関する課題を発見し、解決方法を見いだそうとする者 ・栄養学の土台となる化学や生物などの基礎学力を身につけている者

- ・人々の生命を支える食の営みを、科学的に探究することに情熱のある者

○健康発達学部こども学科

こども学科の教育目標に共鳴し、挑戦する強い意欲を持って学ぼうとする次のような資質・能力を備えた者を求めています。

- ・こどもを愛し、その幸せを実現する意欲と志を持っている者
- ・こどもの健やかな成長・発達を支援する環境や教育について、科学的に探究し、行動する習慣と粘り強さを持っている者
- ・幼稚園教諭免許状、保育士資格を取得し、その専門性を活かして地域に貢献したいという意欲を持っている者
- ・自ら求めて考え、行動し、協働しながら学び、より良い保育を創造する多様な資質を持っている者
- ・英語集中プログラムと海外プログラムを通して、「読む・聞く・書く・話す」の4技能を体系的・実践的に身につけ、グローバル社会で活躍したい者
- ・寮生活を通して、豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、協働して目標を達成することを志す者

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.u-nagano.ac.jp/media/2022soshikizu.pdf.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
グローバルマネジメント学部	－	10 人	16 人	8 人	0 人	0 人	34 人
健康発達学部	－	15 人	8 人	2 人	2 人	5 人	32 人
健康栄養科学研究科	－	1 人	1 人	0 人	0 人	0 人	2 人
ソーシャル・イノベーション研究科	－	2 人	2 人	0 人	0 人	0 人	4 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		32 人					32 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.u-nagano.ac.jp/academics/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
グローバルマネジメント学部	170 人	177 人	104.1%	680 人	742 人	109.1%	若干名人	0 人
健康発達学部	70 人	74 人	105.7%	280 人	298 人	106.4%	0 人	0 人
合計	240 人	251 人	104.6%	960 人	1,040 人	108.3%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
グローバルマネジメント学部	176 人 (100%)	4 人 (2.3%)	163 人 (92.6%)	9 人 (5.1%)
健康発達学部	68 人 (100%)	0 人 (0%)	66 人 (97.1%)	2 人 (2.9%)
合計	244 人 (100%)	4 人 (1.63%)	229 人 (93.9%)	11 人 (4.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 下記大学ウェブサイトの該当ページをご参照ください。 https://www.u-nagano.ac.jp/career/shinro				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業計画（シラバス）の内容 《授業の概要》 《到達目標》 《キーワード》 《履修要件》 《教授方法》 《授業の形態（対面/オンライン（同時双方向）/オンデマンド/対面とオンライン・オンデマンドの併用）》 《授業で使用する ICT ツール（Melly, Glexa, Teams, Zoom ほか）》 《アクティブ・ラーニング要素の有無》 《授業計画》 《教科書・テキスト》 《参考書・参考資料等》 《授業外における学習》 《成績評価》 《質問や相談への対応》 《受講生に望むこと》 《その他・特記事項》 《（実務経験のある教員が授業を担当する場合のみ）実務経験及びその内容》 授業計画（シラバス）の作成過程 1. 学務課から全教員にシラバス作成を依頼 2. 全教員が学務課にシラバスを提出 3. 科目担当教員以外の教員により記載内容の相互チェック 4. シラバス完成 授業計画の作成・公表時期 作成時期：1 月～3 月 公表時期：3 月末
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

学生便覧に、成績評価の基準について示し、履修登録を行った全ての授業について、一定の基準により成績を評価します。

評語	略記号	評点	GP
秀	S	90～100	4
優	A	80～89	3
良	B	70～79	2
可	C	60～69	1
不可	F	0～59	0
認定 (GPAの対象としない)	N	なし	なし

(また、卒業要件単位及び進級要件も示し、厳格かつ適正に履修認定し単位授与しています。)

CAP制(履修科目の登録の上限)について、単位の過剰登録を防ぐため、1年間に履修登録できる単位の上限を設けています。各学科の上限は、それぞれ以下のとおりです。

	1年間に履修登録できる単位の上限
グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科	45単位
健康発達学部食健康学科	48単位
健康発達学部こども学科	45単位

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

○グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

グローバルマネジメント学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

【共通】

- ・グローバルな英知、多様な価値観や異文化を理解し、交流するための教養と発信する能力
- ・豊かな人間性と高い倫理観を持ち、自律的に目標を掲げ、協働して実現するためのリーダーシップと実現の道筋を論理的に見極める能力
- ・未来を切り拓き、グローバルにチャレンジできるための専門的知識とたくましく生きる能力
- ・グローバルな視点から、現代社会の多様な課題に対して論理的に思考する能力

【グローバル・ビジネスコース】

- ・企業経営の諸課題を的確に把握する専門知識を持ち、その課題解決のためにマネジメントする能力

【企(起)業家コース】

- ・社会や地域について問題意識を持ち、新たな事業機会を発見し、事業創造を企画する能力

【公共経営コース】

- ・地域社会の諸課題を的確に把握するための公共経営に関する専門的知識を持ち、その課題解決のため企画立案する能力

○健康発達学部食健康学科

食健康学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、大学の「基盤学士力」に加えて、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・高いコミュニケーション能力とリーダーの資質をもち、栄養・食を通して人々の健康を支えることができる力
- ・地域社会に貢献するとともに、グローバルに発信し、展開することができる力
- ・持続可能な社会を担う一員としての自覚をもち、生涯にわたり学び続けることができる力
- ・専門的知識と技術を身につけ、論理的・科学的に思考し、実践することができる力

○健康発達学部こども学科

こども学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、大学の「基盤学士力」に加えて、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・保育や子育てを支える専門的知識や論理を理解し、社会に還元できる力
- ・地域や社会の特性をふまえ、よりよい保育・子育て環境を計画し、実践できる力
- ・豊かな表現力や感受性を備え、主体的に課題解決や新たな価値を創造できる力
- ・保育者として学び続け、他者との協働によって課題を解決するための課題発見、情報収集、分析思考力、発信力、コミュニケーション力などの汎用的能力

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
グローバルマネジメント学部	グローバルマネジメント学科	124 単位	有・無	単位
			有・無	単位
健康発達学部	食健康学科	126 単位	有・無	単位
	こども学科	124 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.u-nagano.ac.jp/campuslife/campus-guide/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
グローバル マネジメント学 部	グローバル マネジメント学 科	535,800 円	長野県内の者 141,000 円 長野県外の者 423,000 円	1 年生全員寮費 月額 26,500 円	海外プログラム費用別途徴収
健康発達 学部	食健康学 科	535,800 円	長野県内の者 141,000 円 長野県外の者 423,000 円	1 年生全員寮費 月額 26,500 円 実験・実習費 82,000 円	海外プログラム費用別途徴収
	こども学 科	535,800 円	長野県内の者 141,000 円 長野県外の者 423,000 円	1 年生全員寮費 月額 26,500 円 実験・実習費 40,000 円	海外プログラム費用別途徴収

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 学修の相談：履修登録や授業の相談、成績についてなど教務に関わることをサポートしている。高校時代の学びとは異なる環境の中で、関心のある分野の授業を自主的に選び、積極的に学んでいく姿勢を支援する。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 自己理解を促すキャリア・就職ガイダンスの開催、低学年から参加可能なキャリア実習プログラムの実施などにより、主体的な進路選択に繋げる支援を行っている。またキャリアコンサルタント有資格者による個別相談にも力を入れている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 心身の健康等に関する不安や悩みごとに対しては、学生サポートセンターに専門スタッフとして保健師が常駐するほか、非常勤のカウンセラーを配置し、学生一人ひとりの悩みごとに対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.u-nagano.ac.jp/about/kohyo/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F120210105797
学校名（〇〇大学 等）	長野県立大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	公立大学法人長野県立大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		271人（ 178 ）人	264人（ 173 ）人	535人（ 351 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	62人	58人	
	（うち多子世帯）	（ 10人）	（ -人）	
	第Ⅱ区分	28人	30人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ -人）	
	第Ⅲ区分	18人	23人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ -人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	29人	25人	
	区分外（多子世帯）	134人	128人	
家計急変による 支援対象者（年間）				-人（ 0 ）人
合計（年間）				536人（ 351 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-人	人	人
計	-人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	-人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
G P A等が下位4分の1	36人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	36人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。